令和元年度　地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

資料2

担当課事業効果　番号で選択

①地方創生に非常に効果的であった
②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった
④地方創生にあまり効果がなかった
⑤地方創生に効果がなかった

外部有識者評価　番号から選択

①総合戦略のKPI達成に有効であった
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

今後の対応　番号から選択

①追加等更に発展させる
②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

交付対象事業の名称		所管課	種類	実績額 単位：千円	指標	基準値	指標値	実績値	実績値詳細内容	本事業終了後における実績値 事業効果	外部有識者からの評価 事業の評価（どちらかに○）		外部有識者からの意見	実績値を踏まえた事業の今後について 今後の方針	今後の方針の理由
記入例	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	まちひと交流課	推進交付金	4,350	養護学校卒業生の雇用人数	0人	２ 人	４ 人	◆ＴＴＮコーポレーションに　２人 ◆iスマイルに　2人	①	①	②	今後も積極的障がい者雇用の推進を図ってほしい。	③	今後も継続して障がい者雇用の充実を図る。
1	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	まちひと交流課	推進交付金	4,950	障がい者（道立養護高等学校卒業生を含む）雇用人数	0人	2人	５ 人	◆iスマイル　３人 ◆ホクノウ　２人	①	①	②	実績としては結果を残しており、評価する。ただし、雇用受入先（従来の先以外）の確保が必要。今後さらに障がい者雇用人数を増やしてほしい。	③	今後も継続して障がい者雇用の充実を図る。
2	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	まちひと交流課 保健福祉課	推進交付金	3,600	管内障がい者入込客数	4,465人	150人	6,407人	バリアフリーも含めた観光情報発信ガイドの設置 実績見込人数 6,407人 ⇒ 1,942人増	①	①	②	なかなか難しい事業でアイデアが必要となる。 実数が基準値をクリアしてはいるが、定義が分かりづらい。	③	会部有識者の意見を参考に工夫を凝らしていきたい。
3	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	まちづくり推進課	推進交付金	3,190	道外からの管内観光入込客数	261,100人	7,400人	230,000人 （見込数）	檜山管内上半期実績人数 236,000人（平成30年度） 212,300人（令和元年度） △23,700人（前年比90%） 261,100人（平成30年度実績）	①	①	②		⑤	檜山管内７町と東京都特別区連携事業は令和元年度で終了となった。観光入込客数は毎年調査される。
					特産品等販売額	3,522千円	1,000千円	3,385千円	基準値　3,522千円（前年度実績） ・大田ふれあいフェスタ　508千円 ・食観光フェア　3,014千円 実績値　3,385千円（△137千円） ・大田ふれあいフェスタ　576千円 ・食観光フェア　2,809千円 ※新型コロナウイルスの影響により集客減少及び厚沢部町が参加不可となったため売上減となった。	①	①	②	小さな檜山をPRする事業は大切だと思います。できれば継続いただきたいと思います。 ただ売るだけでなく抽選会を実施するということは買いたい気持ちを高めると思う。また、実際購入した人が「今度は地元で」と思ってくれると観光客も増えるかも。事業内容を町民にもっとアピールして下さい。	⑤	本事業で経験・蓄積したノウハウを活かして独自の販売PR活動を充実させていく。
					滞在型旅行商品開発数	3件	2件	2件	新規商品（奥尻２） ・奥尻島・函館３泊４日の旅 ・1泊から行ける！気軽に奥尻 継続商品（南部１、北部２） ・レストランバスツアーinひやま ・自然満喫！ＤＩＹツアー ・食/花/水 デトックス＆リトリートツアー	①	①	②	新型コロナ関係の影響を考慮すれば可	⑤	本事業で経験・蓄積したノウハウを活かして独自の商品開発等も促進させていく。
交付金対象事業費計				11,740						全体意見として、人口減対策に繋がっている障がい者雇用は新たに人数も増え、念願の加工場も出来、大変期待されるわけですが、農産物の確保、保管庫、販売先等課題も多くあると思われますが、町をあげて成功させたいものです。町の大きなPR事業に繋がると思います。					